

御嶽山2014年9月水蒸気噴火から 世界の金属資源を考える

日時：平成27年2月12日（木）

15:00～16:00

講師：大場 司 氏 鉱業博物館副館長・秋田大学国際資源学部教授

会場：秋田大学国際資源学部 附属鉱業博物館 講堂

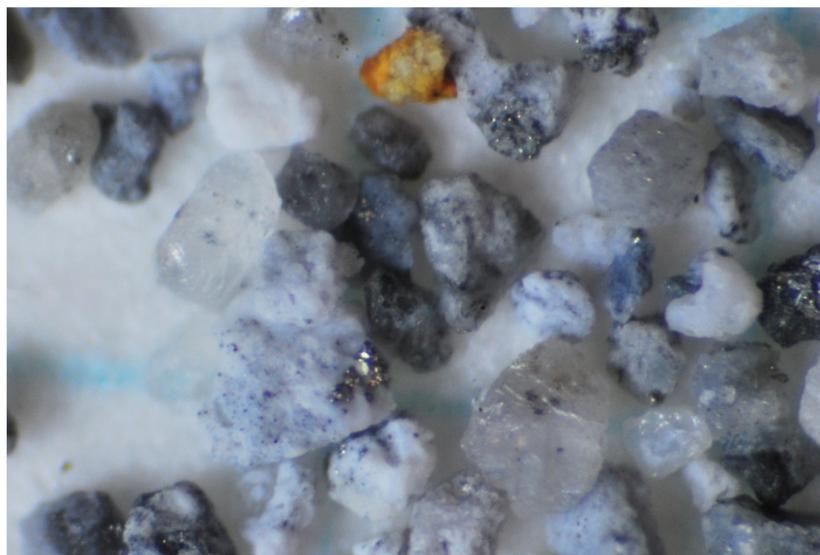
問い合わせ：秋田大学国際資源学部附属鉱業博物館事務室

〒010-8502 秋田市手形字大沢28-2

電話：018-889-2461

当日は入館・聴講ともに無料。事前申込は不要です。

2014年9月、御嶽山が噴火し、死者57名、行方不明者6名という戦後最大の火山災害を引き起こしました。採取した火山灰を詳しく調査した結果、火山の直下の熱水系からもたらされた水蒸気噴火であることが判明しました。ここでは御嶽山水蒸気噴火のメカニズムと大規模銅鉱床成因の共通点について紹介し、火山と金属資源の関係について講演します。



← 採取火山灰の顕微鏡写真。
黄鉄鉱や石英に富み、金属鉱床周辺に見られる岩石と似ている。